

ソニー健保の令和6年度収支決算が、去る7月23日(水)に行われた第210回組合会で可決・承認されましたのでお知らせします。

健康保険(一般勘定)について

令和6年度決算は33億4,613万円の黒字となりました。

黒字の主な要因は、前年度からの繰越金と加入者および平均標準報酬月額増加によるもので、黒字分は令和7年度へ繰り越します。

収入トピックス

- 健康保険収入は425億3,048万円となりました。一人あたりの平均賞与額は、前年度と比べて約0.5%減となりましたが、平均標準報酬月額は約2.9%増加となり、平均被保険者数も739人増加したため、結果として13億3,934万円増加(3.3%増)となりました。

支出トピックス

- 加入者への現物給付(医療費負担)や現金給付にあてる「保険給付費」は212億4,625万円となり、前年度実績に対して3億9,659万円の増加、率にして1.9%増となりました。ソニー健保に限らず、コロナ禍以降は、保険給付費は増加傾向にありますが、令和5年度が前年から約16億円強の増加だったことをふまえると、令和6年度は増加幅が小さくなった状況です。
- 高齢者医療を支える国への「納付金」は213億5,484万円で、前年度に対して約31億円強の大幅増となりました。医療給付費の増加や団塊の世代が75歳に到達したこと等による後

期高齢者数の増加により、納付金は引き続き増加傾向となっています。

- 加入者の生活習慣病予防、がん検診補助、歩きing等、健康づくりの施策にかかる費用である「保健事業費」は、前年度比103.4%の11億2,706万円となりました。コロナ禍で一部の事業を実施できなかった時期から少しずつ増加傾向となっています。
- 「保険給付費」と「納付金」の2つで、健康保険収入を超える支出(100.2%)となっています。

介護保険(介護勘定)について

保険料収入は66億4,133万円で、介護保険料率の改定がなかったため大きな増減はなく、前年度比で1億3,491万円増、率にして前年度比102.1%となりました。

支出では、国に納付する介護納付金が、60億5,011万円で、2年前の精算分として約7億4,000万円の戻りがあったものの、前年度と比較して4億9,700万円の増加(前年度比109%)となっています。その結果、収支としては30億3,512万円の黒字となり、予算で定めた24億4,532万円を令和7年度に繰り越し、残りを準備金として積み立てました。

本年度(令和7年度)も介護保険料率の改定はありませんでしたが、今後は介護納付金の負担増にあわせて見直しが発生する見込みです。

■ 決算の基礎数値

被保険者数	合計	63,301 人
平均年齢 ※1	平均	43.3 歳
平均標準報酬月額	平均	523,562 円
総標準賞与額 ※2	平均	2,193,568 円

■ 健康保険料率 ※3

事業主	被保険者	合計
49.2/1000	32.8/1000	82/1000

※1…特例退職被保険者を除きます。

※2…賞与の年間総額の平均額です。(特例退職被保険者除く)

※3…保険料率は賞与にも掛けられます。

令和6年度 決算報告

⚡…このマークは『被保険者1人当たり額』です。

